

メッセージアウトライン

日付	2015年2月1日
単元	サムエル記・1
テーマ	神に心を向ける
タイトル	サムエル
テキスト	第一サムエル1-3章
参照箇所	
暗唱聖句	第一サムエル3:9

導入	今日から、サムエル記のメッセージです。おもな登場人物はみんなもよく知っているダビデです。でもその前に、「サムエル記」とあるように、預言者になったサムエルさんのお話をしましょう。サムエルさんは、みなさんと同じくらいの歳のときに神さまのことばを聞いたんですよ。
I	<p>ハンナはサムエルを生まれました(1章)</p> <p>A. ハンナは子どもがいないことを悲しんでいました</p> <p>B. ハンナは男の子を授けてくださいと祈りました</p> <p>C. ハンナはみごもり、サムエルを生まれました</p>
II	<p>サムエルは成長しました(2章)</p> <p>A. ハンナはサムエルを神さまにささげました</p> <p>B. エリの子どもたちは神さまに従わない生活をしていました</p> <p>C. サムエルは神殿でエリの手伝いをしながら成長しました</p>
III	<p>サムエルは神さまの声を聞きました(3章)</p> <p>A. サムエルとエリは、はじめ神さまが呼んでいることがわかりませんでした</p> <p>B. サムエルは神さまのことばをエリに伝えました</p> <p>C. サムエルは預言者になりました</p>
結論	サムエルは、子どものときから神さまの声を聞き、仕えました
適用	みなさんは、神さまの声を聞けると信じますか？神さまに心を向けていれば、ディボーション・お祈り・礼拝メッセージだけでなく、お父さん・お母さん・先生や大自然を通して、神さまの声を聞くことができます。サムエルやエリやハンナのように神さまにいつも心を向けていきましょう。神さまに、心を注いで祈った後の、ハンナの顔は以前とは違いました。サムエルとエリも初めは神さまの声だと分かりませんでした。神さまに心を向けたとき、みことばを聞くことができました。逆にエリの子どもたちは神さまに心を向けませんでした。みなさんも、親が神さまを信じていても、いなくても、自分自身で神さまを信じて仕えていくことが大切です。また、サムエルは、そんなエリの子どもたちと一緒に育ちましたが、神さまに仕え続けました。人に影響されず、自分の心を神さまに向けて、仕えていくことからブレないようにしましょう。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2015年2月8日
単元	サムエル記・1
テーマ	召された者の生き方
タイトル	はじめの王サウル
テキスト	第一サムエル8-10章
参照箇所	
暗唱聖句	エペソ4:1「召された・・・ふさわしく歩みなさい」 or 第一サムエル10:9「神はサウルの・・・新しくされた」

導入	みんなのよく知っているダビデはイスラエルの王様でした。でも実は2代目の王様です。今日は、イスラエルの初めの王様のお話です。
I	<p>人々は王が欲しいと言いました(8章)</p> <p>A. イスラエルの人々はサムエルに王を立てて欲しいと求めました</p> <p>B. サムエルは神さまに祈りました</p> <p>C. 神さまは、「彼らの言うとおりに、ひとりの王を立てよ」と言われました</p>
II	<p>神さまはサウルを王に選びました(9章)</p> <p>A. サウルはいなくなったロバをさがしていました</p> <p>B. サウルはサムエルに助けを求めることにしました</p> <p>C. 神さまはサムエルに、王になるのはサウルだと教えられました</p>
III	<p>サウルはイスラエルの王になりました(10章)</p> <p>A. サムエルは、サウルの頭に油を注ぎました</p> <p>B. 神さまは、サウルの心を変えて新しくされました</p> <p>C. サウルはイスラエルの初めての王になりました</p>
結論	神さまは、サウルをイスラエルの初めの王にしました
適用	サウルは背は高かったですが、あとは普通の若者でした。しかしサウルは、神さまに召され、心を変えて新しくされ、王になりました。イエスさまに救われたみなさんも同じです。普通の小学生ですが、神さまに特別に導かれ、新しくされたのです。そのように神さまの働きに召されたみなさんは、どのように生きるべきでしょうか？神さまはどのような歩みを喜ばれるのでしょうか？それは、イエスさまに心の王さまになっていただくことではないでしょうか。イスラエルの民は、神さまに従うより、王を求めました。みなさんは、心と生活の中心に神さまを王として向かえ、従っていきましょう。サウルはその後、神さまのことばに忠実に従わず、自己中心で高慢になっていきました。それで王の座から退けられてしまいます(13・15章)。みなさんは、自分の力ではなく、神さまの愛によって救われたことを忘れないようにしましょう。神さまが愛と力で助けてくださらなければ、召された働きはできません。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2015年2月15日
単元	サムエル記・1
テーマ	主は心を見る
タイトル	油を注がれたダビデ
テキスト	第一サムエル16章
参照箇所	
暗唱聖句	第一サムエル16:7 「人はうわべ・・・主は心を見る」

導入	いよいよダビデ登場です！彼はどのようにして王になったのでしょうか？
I	<p>神さまはサムエルをエッサイのところに遣わされました(1-5節)</p> <p>A. サムエルはサウルを王にしたことを悲しんでいました</p> <p>B. 神さまはサムエルに「エッサイの息子たちの中に王を見つけた」と言われました</p> <p>C. サムエルはエッサイと息子たちを招きました</p>
II	<p>神さまはダビデを選ばれました(6-13節)</p> <p>A. サムエルは誰が神さまに選ばれたのかわかりませんでした</p> <p>B. 神さまは「人はうわべを見るが、主は心を見る」と言われました</p> <p>C. 神さまは、ダビデに油を注ぐように言われました</p>
III	<p>ダビデはサウル王に仕えました(14-23節)</p> <p>A. サウルから主の霊がはなれ、悪い霊が彼をおびえさせました</p> <p>B. ダビデはサウルのけらいになりました</p> <p>C. ダビデが立琴をひくとサウルは元気になりました</p>
結論	神さまは、ダビデをイスラエルの王に選びました
適用	<p>神さまは、外見でなく、私たちの心を見てくださっています。ですから、身長や顔立ちなどはもちろん、みなさんの成績表や運動会の順位を見ているわけではありません。神さまはダビデの心を見て、王に選ばれました。では、神さまは、どんな心を見て喜ばれるのでしょうか？(ダビデの心はどんな心か？詩篇23・51・103篇などを读もう)何でもご存じの神さまは、私たちの心がカンペキでないことはご存じです(エレミヤ17:9、きたない思い・ズルい考え・ねたみ・意地悪・高慢などがある)。それでも愛を持って心を見てくださるのですから、怖がることはありません。すぐに悔改める正直な心、弱くても神さまに頼る心などが喜ばれるのです。みなさんも、人をうわべで判断しないようにしましょう。まず自分自身の外見や能力を見て、クヨクヨしたり、自慢したりしないようにしましょう。そして、お友だちに対しても同じです。教会に来ているとか、お祈りが上手にできるとかではなく、心がイエスさまに喜ばれることが大切なのです。</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2015年2月22日
単元	サムエル記・1
テーマ	神を信頼して、困難にチャレンジする
タイトル	ダビデ対ゴリヤテ
テキスト	第一サムエル17章
参照箇所	
暗唱聖句	第一サムエル17:50「こうしてダビデは・・・勝った」 or イザヤ12:2「見よ。・・・恐れることはない」

導入	今日は、世界中の子どもたちに大人気のお話です。イスラエル人とペリシテ人の戦いのときのできごとです。
I	ゴリヤテはイスラエル軍に挑戦してきました(1-11節) A. ゴリヤテは3メートル近い巨人でした B. ゴリヤテは一騎打ちの勝負を挑んできました C. イスラエル人はだれも戦う気持ちになれませんでした
II	ダビデがゴリヤテの挑戦を受けました(12-40節) A. ダビデは私が戦いますと言いました B. だれも羊飼いの少年ダビデが戦えるとは思いませんでした C. ダビデは、神さまが助けてくださるから大丈夫だと言いました
III	ダビデはゴリヤテに勝ちました(41-58節) A. ゴリヤテはダビデをバカにしました B. ダビデは神さまが必ず勝つことを宣言しました C. ダビデは石投げとひとつの石でゴリヤテを倒しました
結論適用	ダビデは神さまを信頼し、ゴリヤテに勝利しました みなさんもイスラエル人のように、困難を前にして意気消沈していませんか(勉強・スポーツ・習い事・遊びなど)?ダビデは、なぜ恐れずゴリヤテに立ち向かえたのでしょうか?神さまが必ず助け、勝利させてくださると信頼しきることができたからです。ダビデは、普段から、生活の中で神さまに信頼し、守っていただく体験を積み重ねていたからです。神さまはいきなり大きな敵と戦わせるようなことはなさいません。あなたも、日常の小さなことから、神さまに頼っていきましょう。そうすれば、いつも神さまの守りを体験できます。そのような体験の積み重ねから、大きなことにも恐れずにチャレンジできる信仰を養いましょう。ダビデは、小さな石で戦いましたが、私たちの戦いの武器は、祈りとみことばです(エペソ6:17・18)。ディフォーションや暗唱聖句でみことばを蓄えよう!いつも聖霊に満たされて祈りを積み重ねよう!日ごろからまじめに働き、石投げの訓練をし、時間を無駄に使っていませんでした。また羊飼いをしながら、賛美や祈りを忘れませんでした(詩篇)。そんなダビデだからこそ、神さまは彼が懸命に投げた1つの石をゴリヤテに命中させてくださいました。あなたも、みことばの勇士として、いつも祈りとみことばに専念し、準備しておきましょう。
備考	

